

## アリーナ基本計画策定支援業務

### プロポーザル審査要領

アリーナ基本計画策定支援業務に関するプロポーザルの審査に関する事項を次に定める。

#### 1 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号をすべて満たす事業者を対象に行う。

- (1) 別途定める「アリーナ基本計画策定支援業務プロポーザル募集要項」(以下、「募集要項」という。)に規定する資格要件を満たす参加者
- (2) 募集要項に規定する期限内に、必要な書類のすべてを提出した参加者
- (3) 募集要項により、適正に書類を作成した参加者

#### 2 審査の項目及び点数

総合点数は委員一人あたり 100 点とする。審査項目ごとの配点は次のとおりとする。

- (1) 企画提案 (80 点)
- (2) 見積金額 (5 点)
- (3) 業務実績 (5 点)
- (4) 総合評価 (10 点)

#### 3 選定委員会

県が設置する選定委員会において、参加者による企画提案のプレゼンテーションを実施した上で、「2」の評価基準により総合的に評価し、総合点が最も高い参加者を委託候補者に選定する。なお、参加者が1者だった場合には、総合的に評価して委託候補者としての適否を判断する。また、審査の結果、適切な事業者がいないときは、委託候補者なしとした上で再募集を行う。

##### (1) プrezentation 実施日

令和8年2月中旬～下旬を予定（日時は別途通知）

##### (2) プrezentation の所要時間

1者あたり40分以内を予定（説明20分以内、質疑20分以内）

##### (3) 注意事項

- ① 参加者のプレゼンテーション開始時刻及び実施場所は後日通知する。
- ② プrezentation出席者は最大3人までとする。
- ③ プrezentation開始時刻に遅れた場合又はプレゼンテーションを実施しなかった場合は、評価対象としない。
- ④ 選定委員会は非公開とする。
- ⑤ プrezentation時の追加資料の提出及び提示は認めない。

- ⑥ モニターを使用した資料がある場合については、説明時間20分の中で会場に用意したモニターに映し出し説明することは可能とする。その場合、映像を再生するためのパソコン及び会場モニターに接続するHDMIケーブルは持参すること。
- ⑦ 参加者が多数の場合は、説明時間等を変更する場合がある。
- ⑧ プレゼンテーションに要する全ての経費は、参加者の負担とする。

#### 4 審査の方法

- (1) 選定委員会では、提出された企画提案書と、選定委員会におけるプレゼンテーションに対する審査を行う。
- (2) 各委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別途定める「審査基準」に基づいて審査を行う。
- (3) すべての参加者の審査が終了したときには、各委員の審査結果を集計後、委託候補者と次点者を決定する。
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2者以上ある場合は、経費見積が安価な者から順に委託候補者と次点者を選定する。
- (5) 上記(3)、(4)に関わらず、総合得点が委員数×100点の6割未満の場合は、委託候補者または次点者として選定しない。

## 審査基準

審査の項目	審査の視点	配点
(1) 企画提案	業務全体の実施方針 ・本業務の目的（特に「事業の実現性」）や内容を理解し、業務に取り込む方針や考え方が具体的かつ的確であるか。	10
	施設整備計画 ・交流人口の拡大や中心市街地の活性化のための「新たな賑わい創出拠点」として具体的な検討が十分されているか。 ・プロスポーツやコンサート、イベントなどの安定的な開催に向けた具体的な検討が十分されているか。 ・アリーナを核とした周辺エリアの「まちづくり」の具体的な検討が十分されているか。 ・駐車場の確保やアリーナへのアクセス方法の具体的な検討が十分されているか。 ・想定される災害に対し、専門的な知見をもって、アリーナ機能と防災機能を両立できる具体的な検討方法であるか。	30
	経済的・社会的効果 ・専門的な知見を生かした分析手法の検討ができているか。 ・そのための十分な業務遂行力を有しているか。	5
	概算事業費算定と整備・運営手法 ・県財政負担の削減に繋がる検討が十分にされているか。 ・民間事業者の「本音」や「投資条件」を引き出すための効果的なサウンディング手法の検討が十分されているか。 ・算定手法が社会情勢を踏まえた適切なものとなっているか。 ・整備・運営手法について、検討方針が適切であり、現実的かつ効果的・効率的な検討がなされているか。	25
	実施体制とスケジュール ・業務の実施体制や進め方、工程は効率的で実現性があるか。 ・県内事業者の参画が図られているか。	10
(2) 見積金額	・見積金額が妥当かつ安価であるか。	5
(3) 業務実績	・過去10年以内に延べ床面積5,000m <sup>2</sup> 以上の観客席を有する屋内スポーツ施設（体育館を含む）等の計画策定支援業務に関する実績を有すること。 ・過去10年以内にPFI導入可能性調査等の民間活力を活用した整備・運営手法の検討に関する実績を有すること。	5
(4) 総合評価	・企画提案書全般について、業務内容を十分理解した内容であり、積極的に取り組む姿勢がうかがえるか。 ・アリーナ実現に向けた提案内容が妥当であるか。	10